

旧尾藤家住宅 × 古布創作服ギャラリーパゴパゴ



9/4 (木)
～
11/4 (火)

繕い受け継がれた襦袢 (らんる・ぼろ) に
魅せられて

ぬの だい じ 布大事

繕いは芸術。繕い補強されながら、親から子へ丁寧に受け継がれた「襦袢」。一片の布も大切に扱われ、250片の布から製作された作品もあります。

明治・大正・昭和初期の布団皮、油単、風呂敷、野良着などの藍染木綿や柿渋染布を素材としたタペストリー、創作服、小物、人形、布絵など約40点を展示しています。

また、戦後80年、平和・非戦をテーマにした「ゲルニカ」の絵画を押絵された作品も展示中です。

